

ミギシ・サテライト

「北菓楼札幌本館」(札幌市中央区北1西5)に
当館所蔵品を紹介する特別展示コーナーを開設！



北菓楼札幌本館(札幌市中央区北1西5)



旧北海道立三岸好太郎美術館

2016年3月にオープンした「北菓楼札幌本館」の建物は、1926年に北海道庁立図書館として建築され、1967-83年には北海道立美術館・北海道立三岸好太郎美術館として用いられました。かつて三岸好太郎作品が展示され親しまれていた歴史的意義と価値を広く伝えるため、北菓楼と北海道教育委員会が連携して、同店の一角に特別展示コーナー「ミギシ・サテライト」を開設しました。年4回の展示替えで、各期に1点、1階の専用ガラスケース内に、当館の所蔵品を展示します。

3月～6月の作品は〈貝殻と蝶〉。三岸好太郎は、1934(昭和9)年、「蝶ト貝殻」と題する詩を発表するとともに、詩句をそのまま絵に表したような作品を次々と描きました。本作品はその一点で、海辺のシャコ貝を大きく、勢いのある筆遣いでとらえています。夕陽に長い影を伸ばす空っぽの貝。いにしえの日本では死者の魂と考えられた蝶。この後まもなく世を去る三岸の運命を、暗示するかのようです。

なお、同店2階の「メモリアル・ルーム」では建物の歴史と美術館時代の歩みも紹介しています。



三岸好太郎〈貝殻と蝶〉1934年

